

広域合同演習実施：～ヘリコプター等による情報収集・配信訓練～ (四国東南海・南海地震対策連絡調整会議)

■演習概要

- ◆日時 平成22年2月12日(金)午前9時～12時
- ◆場所 高松サンポート合同庁舎13階 四国地方整備局災害対策室
各機関のヘリポート基地～四国域、各機関災害対策室
- ◆参加機関 四国東南海・南海地震対策連絡調整会議26機関(リエゾン派遣21機関)
オブザーバー機関8機関(リエゾン派遣6機関)
- ◆目的 被害映像の配信、映像を基にした情報の集約と共有の有効性の確認、並びに課題の抽出
- ◆参加人数 約60名

■被害映像の共有

四国地方整備局の映像共有システムを活用したヘリ映像の配信を行った。

■被害情報の集約・共有

映像から明らかとなる被害情報を関係機関で共有するために、情報の収集・集約・配信を行った。

情報の収集



情報の集約



広域被害情報図による情報整理

情報の配信



写メール等によって各災害対策本部へ配信



ヘリ映像の静止画と文字情報を電子メールで配信



広域被害情報図

■各機関の意見

- ・各機関による被害情報の集約は全体の状況が把握でき、非常に有意義であった。
- ・予想以上に情報収集ができた。情報共有する有効性が認識できた。
- ・リエゾンが参集できない場合の情報の共有方法についても検討する必要がある。
- ・集約した情報を次の活動にどのように活かしていくかが今後の検討課題である。